



丸十 marujuu

2012年8月、
予約制の「まちの円居 食の団欒 丸十」内に、
予約なしで入れる部屋ができました。
毎週金土曜 17時から22時までの営業からスタート。
季節の野菜を使った料理と地酒が楽しめます。

百 momo

www.marujuu.jp
388-8007 長野市篠ノ井布施高田 845-1

Clasino Report

02

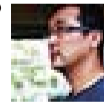
丸十界限の賑わいを通じて
篠ノ井の暮らしとまちを考える
Clasino Project のレポート。

clasino.marujuu.jp
clasinoreport.blogspot.jp

Clasino Project ?

篠ノ井駅前通りと北国街道。新しい道と歴史ある通りが交差するちょうど角、丸十界限のにぎわいを通じて「暮らし」と「まち」を考えるプロジェクト。人と人が新しくつながり、楽しく、心地よい暮らしの実現を目指しています。それは、まちに住む誰もが訪れることができ、日々の暮らしの中で小さな幸せを実感できる場所をつくりだすこと。たとえるならそれはかつて丸十界限にあった銭湯の様な空間です。銭湯はお客様の会話がBGMとなった社交場として地域をつなぐコミュニティとしての役割を果たしてきました。今後プロジェクトを通じて、暮らしの様々なシーンを豊かにし、よりよい社会と幸せな生活環境を築けたら、次の世代の子供たちに残せる「まち」ができるかもしれません。2012年3月からスタートした Clasino Project。改修はひと段落し、今後は丸十界限を舞台にこの土地の暮らしとまちのあり方を考えていく企画をスタートしていきます。

プロジェクトリーダー 久保田盛雄



Clasino Projectではこれまで改修やイベントを通じて様々な人と交流してきました。地域の人々の思い出を残していくため、通明小の体育館の床板の再活用や、現在の篠ノ井のまちを知る為にまちの人と歩き、地元の高校生とまちの立体模型を作成しました。Clasino Projectでは、これからも人と人、まちをゆるやかにつないでいく企画を予定しています。



クラシノ コラム

Vol.1 銭湯



私がお風呂屋さんに嫁いで、驚いた光景の一つに「お客さん同士で背中を流す」というのがある。人情あふれる銭湯だから容易に想像がつきそうだが、本当なんだ！と思ってうれしくなった。常連さんの中では、上手い下手の評判があるらしく、上手い人がお風呂に入っていると、ずっと隣のカランに行き「いいかい」といって自分の手拭いを渡す。お互いにやりっこしながら何人も続く時もあるのだ。私が初めて「背中向けてみな」と言われた時、お仲間に入れていただいた気がして、やっぱりうれしかった。

ディレクター 久保田清絵



作り手や、使い手のモノに込められた想いを伝えつなく。
日本人が持っている「豊かさ」が感じられるモノ。実用
本位でシンプルなデザインの器や生活道具、古家具な
どを扱うショップスペースを併設します。

Orche

ここ篠ノ井のまちの真ん中に新しい空間が誕生します。仲間が
集い、大テーブルを中心に大いに笑い、飲み、食べ、また静か
に語り合う。そして、時には学び、思い出を作り、人々が交わ
りつながっていく場所を目指します。

8月の暑さの中、体育館で使われてきた床板を運び出し、少しずつ寒くなってきた 10月には、
明かりを灯しながら改修を行いました。実際の作業は、お店として見る華やかな表舞台とは違い、
たいへんな事も多くありましたが、オープン前の貴重な時間を味わうことができました。また、
今回の改修には、県外から参加してくださる方、旅の途中に参加してくださる方と学生・社会人
問わず多くの方々が参加してくださいました。「Orcheにはおもしろい人がいっぱいくる」そん
な会話が今後この場所で聞こえてくるようなそんな気がしています。

1. 体育館の床板張り 2. 天
井解体の様子 3.Orcheの
壁は漆喰左官で仕上げてい
ます。4. かつて丸十温泉の
サッシに使われていた緑色
のカラーを再現しました。

インターンスタッフ 荻原光人



1

2 3

4

